

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和8年2月19日（木） 13:30～15:35 成果発表会
15:40～16:50 会議
- 3 開催場所 八百津町ファミリーセンター 大ホール・講義室
- 4 参加者

会 長	服部 孝義	八百津中学校校長
副会長	山口 茂義	錦津コミュニティセンター館長
委 員	上北 泰久	八百津東部中学校校長（欠席）
	河村 浩之	錦津小学校校長（欠席）
	佐藤 敏則	八百津町教育長職務代理者
	武市 由紀子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	同窓会長
	樋口 隆敏	PTA会長
	曾我 琴音	八百津高校卒業生代表（欠席）
オブザーバー	加藤 大博	衆議院議員（欠席）
	金子 政則	八百津町長（欠席）
	社本 勝義	八百津町教育長（欠席）
	佐合 智尚	佐合食品専務（欠席）
学 校 側	岩島 章雄	校長
	小林 和豊	教頭
	兼松 義治	学習支援部部長（教務主任）
	井戸 礼子	生徒支援部部長（生徒指導主事）
	吉井 賢吉	進路支援部部長（進路指導主事）
	貝川 友子	職員代表（記録）

5 会議の概要（協議事項）

・令和7年度の学校関係者評価等（学校運営協議会）について

意見1：学校評価は年度によって保護者・生徒の顔ぶれが変わるため、数パーセントの変動に過度にとらわれすぎる必要はないように思う。八百津高校として大切にしていることに向けて、今後も取り組んでほしい。

意見2：1年間の成果を発表することは生徒の成長につながり、良い経験になったと感じた。校長先生の言葉にもあったように、ここがゴールではなく、30年後・40年後を見据えて教育が行われていることがよく分かった。今後は、先生方が転勤などで入れ替わる中、新しい先生へ生徒をつなぐためのサポート体制が課題になる。

意見3：地元企業への就職率について質問したい。

回答3：可児、美濃加茂の生徒が多い。八百津町は2名。

意見4：発表者から、「責任」、「周りがみえるようになった」という言葉があった。これは社会人として一番大事なことである。

意見5：八百津祭りには生徒さんにご協力いただき感謝している。今後もお願いします。

回答5：今後は、八百津高校の教頭が窓口となって、可茂地区の高校にも呼び掛ける予定である。

意見6：中学校でも職場体験が、様々な理由で二日間しかない。内容的には同じようなことをやっていると思うが、二日間では仕事をこなすだけで精一杯である。今日の発表で「社会に出たら」という言葉。「社会に出たら」という言葉の裏には、自分に向き合うことができているのだろうと思う。これがデュアルシステムのすごいところだと思う。中学校とはレベルの違うことをやってみえて羨ましく感じた。

意見7：生徒指導の評価について、生徒だけでなく保護者からも高い評価を受けている。生徒と保護者が同じ思いであることが、八百津高校の強みだと感じた。

6 会議のまとめ

委員より本校への温かい示唆に富んだ意見が得られた。いただいた意見を参考にして、来年度も引き続き中高連携を密にし、地域の力を借りながら、社会人としての成長を見据えた学校運営に活かしていく所存です。